

落語家

笑福亭 笑利 さん

布教使

大谷 義文 師

報恩講 × 落語

2025
11/28
金
14:00

法話のライブ配信します！

YouTube

本廟ホームページのトップ
「ライブ配信」から入って
いただくか、こちらのQRコ
ードを読み込んでご覧ください佛
光
寺
本
廟

TEL 075-561-2100

お参りされる方は
本堂の席数に限りがあるため
事前にご連絡ください京都府宇治市出身。上方落語協会。
吉本興業所属。2014年笑福亭鶴笑に師事し、漫才師
から落語家へ転向。古典落語、新作
落語だけでなく、人形を使ったパペット
落語、歴史の史実を基にした創作歴史
落語などで、全国各地で活動中。2023
年から毎月開催した20カ月連続根多下
ろし公演では、ほぼ全公演満席。2024
年10月、落語家として唯一の味園ユニ
バーズ独演会の開催。笑いの殿堂なん
ばグランド花月本公演出演中。

熊本県益城町在住。

真宗佛光寺派布教使。阿弥陀寺の中
心として精力的に活躍中。
平成11年、島根県の無住であった阿弥
陀寺を、熊本県益城町に移した。お寺
の名前だけで建物も何もない中、自宅を
解放し、活動に賛同する人々と共に協力
し合いながら、今の寺の形を作り上げた。
ご門徒がひとりもない船出から今年で
15年。古い慣習にとらわれず、法事に
相談事など誰もが気軽に集うことのでき
るお寺をめざしている。



ほうおんこう

報恩講

は



11月28日は親鸞聖人のご命日

であり、この日をご縁に勤まる法要が報恩講です。親鸞聖人は私たちにかけられた大きな願いの世界を明らかにしてくださいました。その願いが有難く思えた時、私たちに与ったの**恩**となります。

「恩返し」という言葉がありますが、本来は返すことの出来ない事柄に対する言葉を**恩**といいます。義理は返すことができますが、**恩**は返すことができません。

私たちは先立っていかれた方々から多くの**恩**をいただきました。その**恩**の集合体が私たちの「いのち」なのです。しかし残念ながらその方々に**恩**をお返しすることはできません。だから**恩**には「報いる」という形でしか応えることが出来ないのです。

「報いる」とは大勢のご先祖様に教えて頂いた「いのちの不思議」を次世代へと繋いでいくことです。

報恩講とは「**恩**に報いる講（あつまり）」と書きますが、私たちの先輩方はこの報恩講をご縁に、頂いた**恩**を共に確かめ、かけがえない「いのちの歴史」を私たちにまで相続してくださいました。また、「報」には「しらせる」という意味があります。大きな願いの世界に生きる「いのち」を報（しら）され、先人の足跡をたどりながら同じ道を歩むことが、今を生きる私たちにとつて大切なことなのです。このことから浄土真宗では報恩講を大切に勤めてまいりました。

